

# 韓国

# 社会運動 労働運動

# 講座

地域民主主義を核とし、住民たちみずからがコミュニティを作り上げている韓国社会運動。そして日本とおなじく企業別に労働組合が組織されながら、産業別組織への発展を志向し非正規の組織化にも実績をあげている韓国のいくつかの労働運動。韓国のエキスパートであるお2人の講師をお呼びして、韓国の運動のいまと日本への示唆を語っていただきます。

**日程** 5月12日～6月2日 毎週木曜日 / 午後7時～9時

**会場** 東京労働会館・地階 (豊島区南大塚 2-33-10)

**会費** 全4回で5,000円 (1回聴講は1,500円)



講義録 CD と資料を郵送  
音声 CD (CD プレーヤーで再生)  
データ CD (パソコン再生)  
会費: 6,000 円



専用サイトでファイルをダウンロード  
申込方法など詳細は web サイトをご覧ください  
会費: 4,500 円

16年 東京労働学校第130期「韓国社会運動・労働運動講座」受講申込書 月 日

氏名	男・女			年齢	才
住所	〒				
電話	自宅:	携帯:			
E-mail					
申込内容	①教室受講	②音声CD受講	③データCD受講		
労組・団体名:	会費受領日		月	日	受領者名



きつかわ じゆんこ  
**桔川 純子**  
NPO「望希の種」副理事長  
明治大学兼任講師  
第18回韓日文化大賞 (文化交流部門) 受賞。  
韓国の市民運動の現場をよく知るエキスパート。

第1回 5月12日 (木)

## 現代の韓国市民運動はいかにして生まれたか?

韓国現代史のなかで、どのような市民運動が誕生し、社会にどのような影響を与えながら変化していったのか、個別の市民団体とその取り組みについて紹介しながら、そこから日本がどんなことを学べるのか参加者とともに考えていく。

第2回 5月19日 (木)

## 住民たちの手で、地域コミュニティと民主主義を!

市民運動も、市民団体に「代弁」してもらう運動に留まらず、住民自らが主体として地域民主主義を形成していく動きも活発になってきている。代表的な事例「ソンミサン・マウル」などいくつかのコミュニティを紹介し、その可能性について考えていく。



おう はくす  
**吳 学殊**  
労働政策研究・研修機構  
主任研究員  
労働組合の組織化や非正規労働者問題の日韓比較に关する第一人者。

第3回 5月26日 (木)

## 韓国の非正規組織化のいま、そして未来

韓国では、IMF 経済危機以後深まった組織率の低下、格差の拡大、非正規職の急増を打開するために、非正規センターの結成や組織改革などを進めてきた。民主労総などの非正規組織化、非正規職撤廃運動などの取り組みから日本の運動への示唆を考える。

第4回 6月2日 (木)

## 産業別組合への転換をめざして

先進諸国ではアメリカの一部を除いて世界の労働組合で韓国と日本だけが企業別組合だが、韓国では民主労総の産別労組建設運動が 2005～06 年にかけて大きく前進した。現在では8割近い企業別労働組合で産別単一組織への転換が実現したとされている。その実践から日本の労働組合の課題を考える。

【申込み・問い合わせ】

東京学習会議

TEL: 03-5842-5646

FAX: 03-5842-5647

E-mail: gakyuukaigi@gmail.com

http://www.gakyuukaigi.org

web サイト

